

1. 研究活動

<翻訳、解説>			
『出会いの音楽療法』	2011. 9	風媒社 346 頁	クリストフ・シュヴァーベとウルリケ・ハーゼによる著作の翻訳。人間を社会的存在として把握し、人間の社会的能力、表現能力、コミュニケーション能力を焦点とする音楽療法
<発表>			
ノルウェーにおける音楽療法の展開とその思想的基盤	2012. 3. 18	文部科学省科研費プロジェクト「北欧ケアの実地調査に基づく理論的基礎と哲学的背景の研究」第 8 回研究会 聖隷クリストファー大学	ノルウェーにおける音楽療法の現場視察からえられた考察、音楽療法の理論的基礎、音楽療法と哲学との関わりについて発表した。
ヘルダーリンの「一にして全」について 1794/95 年 フィヒテ「知識学」との対決から合一哲学へ	2011. 9. 25	中部哲学会個人研究発表 三重大学	ヘルダーリンの合一哲学がフィヒテ哲学との対決から展開する事態をあきらかにした。
<講演>			
Philosophy and music therapy	2011. 9. 6	ベルゲン大学音楽療法学生に対する講義 Brunjulf Stiege 教授主催の講義	音楽療法では音楽が提供する意味の場が重要であり、これは哲学的考察の対象となることを論じた。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 倫理学	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
社会的現実を理論的に把握することを目的とした。教材はパワーポイントで作成し、内容理解を容易にする工夫を行った。	
授業科目 哲学	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
近代哲学の展開を歴史的コンテキストの中で理解できるように講義した。	

授業科目 音楽療法概論	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
音楽療法のさまざまな理論的モデルと近年の主要な潮流について説明した。	
授業科目 教養講座 (人間)	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
哲学的美学の翻訳されたテキストを読むことを試みた。	

3. 学会等および社会における主な活動